

コンプライアンスの確立に向けて

平成27年度の所長訪問も今月が最終月となります。学校を訪問する際には各校におけるコンプライアンスの取組についてお聞きしています。どの学校を訪問しても、それぞれの学校において教育公務員としての誇りや遵法意識の確立に向け、計画的・継続的な研修がなされている状況にふれることができます。学期末・長期休業を控えるこの時期に、あらためて校内におけるコンプライアンス研修のポイントを掲載しますので、参考にさせていただきます。

「風通しの良い職場づくり」に向けた取組事例の紹介

「27コンプライアンス・チェックシート」の活用

- 定期的なチェックにより、自己診断を行う。
- 意識の弱い部分を全体・自己分析し、対策を確認。



診断結果をすぐに全職員に配布している学校もあります。

自己の心の状態をチェックすることで、より身近な問題との意識が高まります。また、全職員が取り組むことで、職場集団としての環境づくりができます。

「27コンプライアンス・ファイル」の作成と活用

- 個人用のファイルを作成し、チェックシートや各種の通知、校内研修時の資料等を綴じ込み、職員室に保管する。
- ファイルを必要に応じて自己研修資料として活用する。



様々な媒体からの情報収集が自己を見つめる資料となります。

全教職員が重要な情報を確実に共有することができるとともに、遵法意識を高めることができます。

「定例学習会（研修会）」の開催

- 校内の定例会議等を活用し、具体的な事例をもとに周囲への影響の大きさや、どう対応すべきだったかを考え、話し合う。



駐在さん等の外部講師の招聘を計画している例もあります。

多忙な中でもじっくりと考える場を設定することで違反のない堅実な行動に結びつきます。

「臨時職員（ミニ）集会」の開催

- 不祥事の発生を受け、事案の概要や問題点を即時に全職員で共有する。
- 生徒指導主事による関係法規の説明や、管理職による講話等を取り入れる。



細かい交通ルールを全職員で確認し、共有したいです。

法令遵守を大切にする職場の環境づくりができます。

「コンプライアンスに係る校内委員会」の確立

- 様々な危機に対する意識の向上を目指した研修計画を作成し、実行するための要の組織とする。
- アンケート結果やヒヤリハット体験等を集約して、校内研修の参考資料とする。



転入教職員には地区の危険箇所も詳しく確認したいです。

職場から不祥事を出さないための組織を機能させることで職員間のチームワークが安定します。

「交通安全友の会」等の職場組織の確立

- 個人標語等を更衣室等、日常的に目に付く所に掲示し、法令遵守の意識化を図るとともに注意喚起する。
- 校内通信を発行し、各種の事案や体験事例を載せる。



研修に受身とならないように、輪番制で体験発表するなど、全職員が思いを伝え合う機会が設定されてきています。

管理職も参加して主体的に取り組むことで、職員の意識化や望ましい人間関係づくりにも役立ちます。

コンプライアンス研修をより一層推進するための課題と改善策！

- ・時間の確保・・・定例会議への位置付け、臨時集会の開催等、短時間でも計画的に取り組みましょう。
- ・主体性の向上・・・個々の体験発表や、意見交流の場を設定し、同僚性を高めることにつとめましょう。
- ・研修内容の体系化・・・道交法違反のみならずあらゆる内容を年間をとおして計画的に研修しましょう。
- ・研修の形骸化・・・セルフチェックやグループ協議等、演習形式の研修を取り入れましょう。